

輸出事業計画

※申請者名：はかた地どり輸出促進コンソーシアム

品目：鶏肉（はかた地どり）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

はかた地どりは国内全各地域へと販売を拡大してきたが、生産基盤の強化、さらなる認知度向上、販売力強化へ向けて海外展開への取組に着手。

平成27年から、福栄組合では正肉や手羽等を香港に輸出を開始した。

香港において「はかた地どり」は「日本産の高品質な鶏肉」という位置づけであり、主に料理店や量販店で提供。香港の新華日本食品有限公司（輸入業者）が代理店となり、現地で販路を開拓してきた。

【課題】

（販売）現在、香港にムネやもも等の部位（原体）を1キログラム単位の包装（業務用）で輸出しているが、現地の輸入業者を通じて、納品数量を拡大する為にはコンシューマーパック、さらにモモ切り身やたれ漬け鶏肉といった加工品を取り扱うようしてほしいとの要望が上がっている。コンシューマーパックに対応できる機械をを導入したがため、その商品を香港の量販店へ拡販するための、営業活動を行うことが課題。

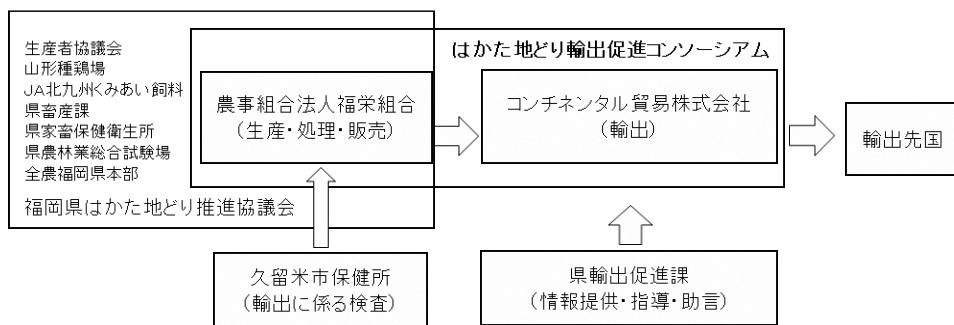
（申請）現在は香港への輸出のみであり、輸出拡大には輸出先国を増やす必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

・少量包装（コンシューマーパック）の販路拡大を行う為、実施計画期間中には、香港の量販店にて拡販の為の販促イベントを実施予定。その後も定期的実施予定。

・香港以外への輸出拡大のため、現在、ベトナム輸出のための施設認定手続きを実施中

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	令和4年（現状）	令和7年（目標）
香港	20,799千円	37,000千円
ベトナム	0円	2,670千円